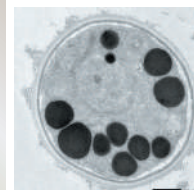


根こぶ病の生活環の 3箇所を阻害!

一次遊走子の分化を阻害

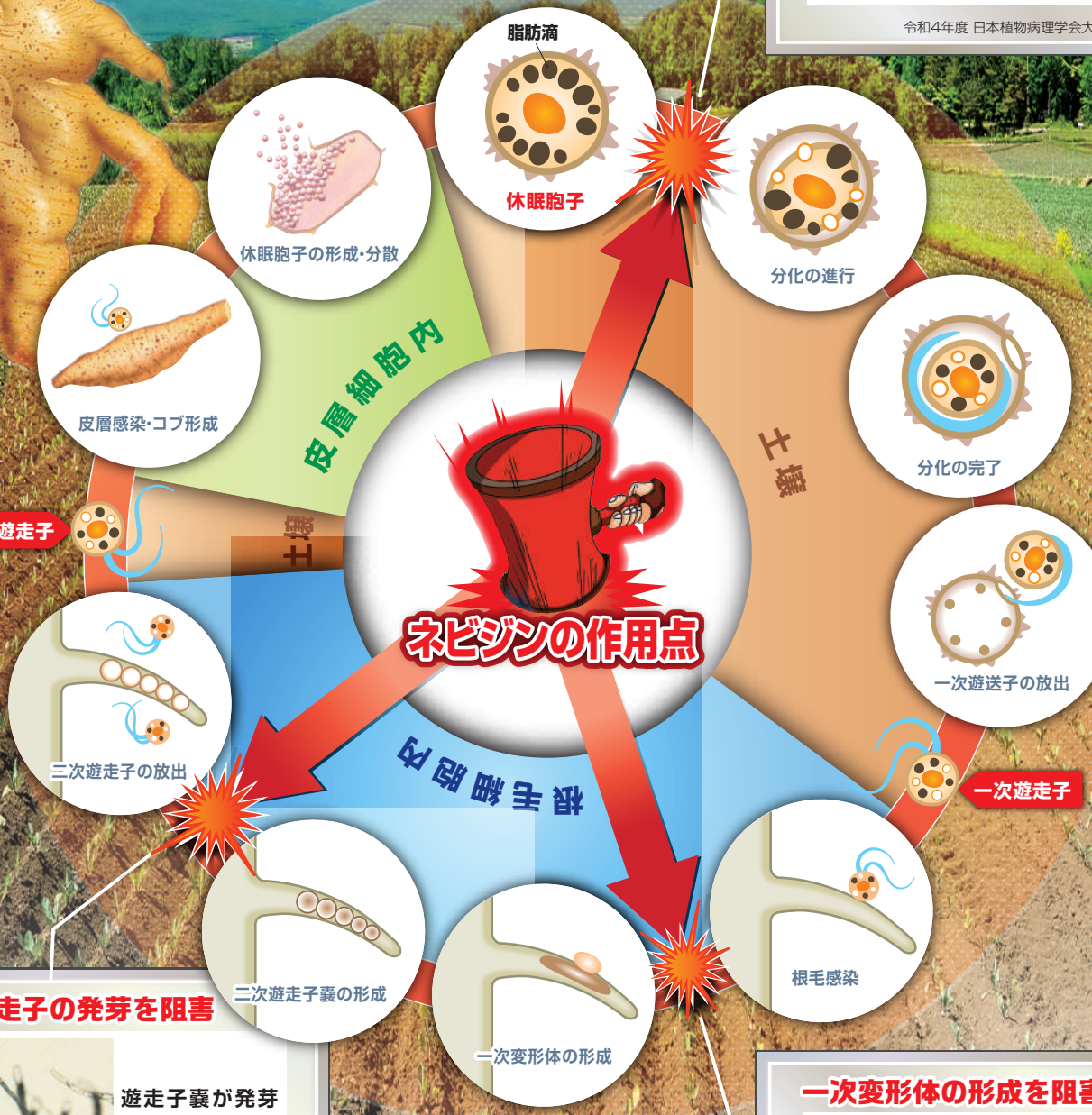


休眠胞子は脂肪滴の分解まで進みますが、それ以降の進行は観察されません。

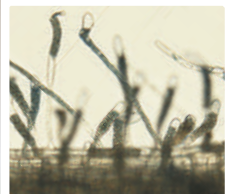
分化が停止した休眠胞子

令和4年度 日本植物病理学会大会(山口大学発表)

ネビジンの作用点



二次遊走子の発芽を阻害



遊走子嚢が発芽せず、二次遊走子の放出が阻害されます。

内部が充滿した状態で停止した遊走子嚢

令和4年度 日本植物病理学会大会
(三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社発表)

一次変形体の形成を阻害!

根毛感染した後も一次変形体の形成を阻害します。

令和4年度 日本植物病理学会大会
(三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社発表)

根こぶ病をしっかり抑える

農林水産省登録
第18210号

殺菌剤

ネビジン[®]粉剤



ネビジンは三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標です

有効成分：フルスルファミド……………0.30%

人畜毒性：普通物※

※「毒物及び劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

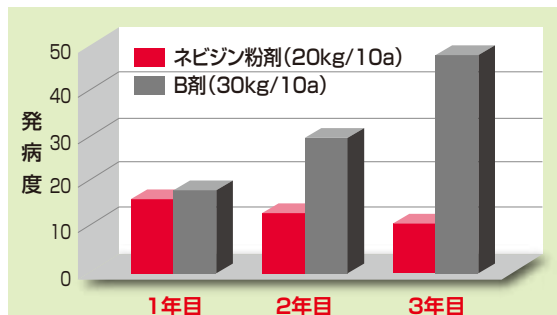
- 1 環境や土壌の種類に影響されにくく、使い続けると安定した効果が持続します。
- 2 薬剤処理から移植・は種まで間隔を空けても高い効果を発揮します。
- 3 降雨が多い年でも高い効果を発揮します。

■適用作物と使用方法

2023年4月5日現在

作物名	適用病害名	使用量 (kg/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルスルファミドを含む農薬の総使用回数
キャベツ	菌核病	30	定植前	2回以内	全面土壌混和	2回以内
		20~30	は種または定植前		作条土壌混和	
はくさい ブロッコリー カリフラワー 非結球あぶらな科葉菜類 (なばな類を除く)	根こぶ病	20		は植前	1回	全面土壌混和
		20~30	作条土壌混和			
なばな類		20~30	は植前	1回	全面土壌混和	1回
レタス	菌核病	20~30	定植前		作条土壌混和	
かぶ	根こぶ病	30	は種または定植前	1回	全面土壌混和	1回
だいこん		20			作条土壌混和	
ばれいしょ	そうか病	30	は植前	1回	全面土壌混和	1回
	そうか病 粉状そうか病	60			植付時	
					全面土壌混和	2回以内 (種いも浸漬は1回以内、 土壌混和は1回以内)

■キャベツ根こぶ病に対する効果



試験年度：2006年～2008年(3年間連続試験)

試験機関：三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社社内試験

試験場所：群馬県嬬恋村

処理方法：定植前全面土壌混和

定植時期：5月中旬

調査時期：7月下旬(収穫期)

■ネビジン粉剤の連用により、防除効果がいっそう高まります。

■上手な使い方

- 1 砕土および土壌混和はていねいに行ってください。
- 2 土壌水分が高い圃場での使用は避けてください。
- 3 土壌混和の深さは、10～15cmが必要です。

⚠️ 効果・薬害等の注意

1. 所定量を作条または全面に散布し、土壌とよく混和した後、は種、定植または植付けしてください。
2. 本剤の作条土壌混和を行う際は、本剤の所定量を畦上全面に散布し、土壌中に均一に分布するようによく混和してください。
3. つまみ菜・間引き菜には使用しないでください。
4. ばれいしょのそうか病に対しては、多発生条件下では効果が劣る場合があるので注意してください。
5. 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意してください。特に適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめ使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
6. みずかけな使用する場合、水掛け開始は薬剤処理後2ヵ月以降を厳守してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。○ラベルの記載以外には使用しないでください。○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。○空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。○防除日誌を記載しましょう。

本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

本印刷物は2023年4月5日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

NBJ1DS1G

⚠️ 安全使用上の注意

1. 誤食などのないよう注意してください。
2. 本剤による中毒(痙攣)の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されています。
3. 眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
4. 散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
5. 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。



**三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社**

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifefesolutions.com>